送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

おばあちゃんへ

おげんきですか。わたしは　委員会の　仕事にも　①慣れました。

ほうかごに　町の　れきしを　②調らべた。むかしの　地図と　今の　地図を　③比べた。

人は　川の　近くから　駅の　近くへ　④移った。図書館の　先生は　ふるい　本を　⑤貸た。

本には、川の　ようすが　地図で　⑥示して　あった。むかしの　村は　⑦貧かった。

むかしの　人は　力を　あわせて、今の　町を　⑧築いた。

この　町の　ことを　もっと　くわしく　⑨確かめます。

来月は　ぼうさいの　日。台風に　⑩備なえて　水を　ためて　おいてね。

手紙は　また　⑪出します。冬休みは　そちらで　ゆっくり　⑫過したい。

お体を　たいせつに。

みさきより

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん②（手紙の なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／手紙の 線の ことば（5まいの うち ③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

- あ **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う
- い **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい
- う **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

手紙の 線の ことばを ぜんぶ しらべて、表に ○か ×を 書こう。
まちがいの かずは かいて ありません。×は なおして、記号（あ・い・う）も 書こう。

おばあちゃんへ

おげんきですか。わたしは 委員会の 仕事にも ①慣れました。

ほうかごに 町の れきしを ②~~調らべた~~（×→調べた）。むかしの 地図と 今の 地図を ③比べた。

人は 川の 近くから 駅の 近くへ ④移った。図書館の 先生は ふるい 本を ⑤~~貸た~~（×→貸した）。

本には、川の ようすが 地図で ⑥示して あった。むかしの 村は ⑦~~貧かった~~（×→貧しかった）。

むかしの 人は 力を あわせて、今の 町を ⑧築いた。

この 町の ことを もっと くわしく ⑨確かめます。

来月は ぼうさいの 日。台風に ⑩~~備なえて~~（×→備えて） 水を ためて おいてね。

手紙は また ⑪出します。冬休みは そちらで ゆっくり ⑫~~過したい~~（×→過ごしたい）。

お体を たいせつに。

みさきより

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	調べた	あ
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	貸した	う
⑥	○	（なおさない）	

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	×	貧しかった	い
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	備えて	あ
⑪	○	（なおさない）	
⑫	×	過ごしたい	う

つまずきやすいところ

調らべた・備なえて は 送りすぎの 例。慣れました・確かめます・出します は 長く 見えても 正しい 書き方。
貧かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い。貸た のように 動詞の「し」が ない まちがいは う に します。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。